

BAKERY'S STREET&CAFE

ベーカリーズストリート&カフェから、新しくも懐かしい味わいが魅力の「あげパン」をご紹介します。ソフトフランスパンを揚げるので「さくっ ふわっ もっちり」の新食感がたまりません。揚げたてをぜひお試しあれ。

シュガー ¥100
きなこシュガー ¥120
シナモンシュガー ¥120



TASTE
GOOOOOOD!!
FRIED BREAD
あげぱん

サクッ
ふわッ
モチモチ



BAKERY'S
STREET&CAFE
住長野市西後町まちな
み1583番地
☎026-232-0269
<http://www.b-sc.net>



NARIFURI
LIMITED
SHOP ♡ IN
NAGANO!

2012.03.17(sat) —
→ 2012.04.01(sun)

narifuri shop in Nagano!!
narifuri x naturalthing CENTRAL

narifuri fashion + bicycle

自転車に乗りやすく、時代を外れず、しかも自転車を連想させない強い、それが narifuri です。乗りやすいシャツであると同時に、シャツ本来の姿であること、機能的なジャケットであると同時に、ジャケットとして美しいこと、自転車に乗る機能にすぐれ、かつ美意識のある強いであるという、私たちが今、必要だと感じる洋服の在り方を形にしています。

contents

- 06 【特集】 権堂を楽しむ
- 16 HAIR SALON
- 20 FASHION
- 31 日和アート
- 33 日和文庫
- 34 タテタカコ
- 35 日和音楽堂
- 36 日和カレンダー
- 38 日和ジャーナル
- 41 キネマ日和
- 43 ナガノスタイル



vol.76 2012年2月29日発行
 株式会社まちなみカントリープレス
 日和編集部
 〒380-0831 長野市東町131
 電話：026-237-2411
 FAX：026-237-2522
<http://nao-magazine.jp/cp/hiyori/>
hiyori@nao-magazine.jp

新たな進化のかたち

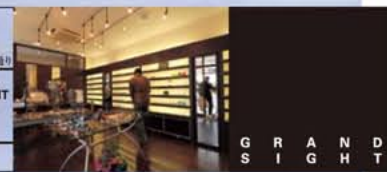
JAPONISM



上 / 【512シリーズ】 JN-512 / 3万1500円
 下 / 【PROJECTION】 JP-001 / 4万9350円

上：JN-512は、ブリッジ正面をフラットにし、よりレンズサイドの立体感を強調して今までは違う雰囲気を意識したモデル。フロントは通常の曲智タイプより深い位置で曲げているため、掛けたときにより滑らかに顔に沿うようなフォルムに仕上がっています。

下：“良いものと長く付き合うことで得られる心の豊かさ”をコンセプトとし、普遍的な価値観とグローバルスタンダードを追求して無駄を削ぎ落とした極上のシンプルなデザインのPROJECTION。オリジナルの機構とパーツは簡単に交換することが出来き、新たな進化のかたちとしてここに登場しました。



GRAND SIGHT 松本市中央2-5-10 ☎ 0263-33-5417 <http://www.grandsight.com/>

G R A N D
S I G H T

権堂を楽しむ

長野市の権堂町。
善光寺の南側に位置し、市内随一の繁華街として栄えてきました。
そんな権堂町で若い世代の人たちが活動を始めています。
取材して感じたのは「町そのものを楽しみたい」という視点。
おもしろいことになっています。



放送中

アップデート放

MENU	
Toast	Drink
トースト 1,200	コーヒー 1,200
パンケーキ 1,400	抹茶 1,200
ホットケーキ 1,400	ジュース 1,200
クロワッサン 1,400	アイス 1,200
Food	デザート 1,400
カレーライス 1,200	ケーキ 1,200
ハンバーグ 1,200	パスタ 1,200
ステーキ 1,200	ピザ 1,200
サラダ 1,200	
デザート 1,200	
Dessert	
チョコレート 1,200	
アイスクリーム 1,200	
ケーキ 1,200	
パスタ 1,200	
ピザ 1,200	
Cake	
チョコレート 1,200	
アイスクリーム 1,200	
ケーキ 1,200	
パスタ 1,200	
ピザ 1,200	

オープンアトリエ 風の公園

権堂の町の中に
風が吹く公園のように



「風の公園」は至るところに「色」があります。どれも派手ではないけれど、明るい色合いが絶妙に統一感を生み出しています

左の写真、エントランススペースは、どこかポップなイメージで、子どもたちがただで楽しくなるような空間に。1階にはキッズスペースやオムツ替え＆授乳室も完備とのこと



いわゆる「ホワイトボックス」と言われる、白塗りの壁で囲まれたギャラリースペースではなく、かなりポップな内装になっています。その場にいると、自然と気持ちが明るくなります



オープンアトリエ 風の公園

2人のクリエイターによる独特の空間

ペインターのTOMOYAARTS(トモヤーツ)さんと、グラフィックデザイナー・ソライロデザイン代表の宮下智志さんによる、ギャラリー兼アトリエです。印刷所だった建物をほとんど2人でリノベーションしています。



〒長野市上千歳町1336 ☎026-217-6819 営業10~19時 休水曜
<http://windpark.naganoblog.jp/>

権堂のど真ん中、飲食店が多く集まる通りにそれらとはちょっと雰囲気の違う、明るいライムグリーンに色づけされた建物に「オープンアトリエ 風の公園」。中も明るい配色がなんともかわいらしく、ちょっととした異空間が特徴です。1階は主にギャラリースペース。取材したこの日は、トモヤさんと中島未月さんによる絵本「さよなら、またね」原画展が行われていました。「絵本を制作するプロセスを見せたかった」と語るトモヤさん。登場するキャラクターの表情を模索するコンテンツなどの試作段階からこれでもかというくらい数の原画がところ狭しと展示されていて、また木造のギャラリースペースのとの雰囲気もぴったり。時間を忘れて一枚一枚見入ってしまう。また、エントランスにはトモヤさんの作品が展示販売されていたり、気軽に腰掛けて話ができるような空間になっています。

2階は、トモヤさんのアトリエと、グラフィックデザイナー・宮下さんの事務所があります。そして、それとは別にこれまたたっ広いスペースが。こちらはワークショップや公開制作などができるようになっています。

トモヤさんのお仕事はペインター。毎日、アトリエでキャンバスに向かう日々です。「手を動かさない日はまずありませんよ」とトモヤさん。中でもトモヤさんのライ

ブペイントは「こんな稚拙な言葉で申し訳ないんですけど……」すごいですよ。下書きもなしで、頭の中にあるイメージを素早い筆さばきでどんどんキャンバスに具現化する。しかも一度描いたものからさらに描き足していき、最終的に描き始めとは別の作品に仕上がります。うーん。文章でうまく伝えられてますでしょうか？ ぜひ、直接見てみてください！

グラフィックデザイナーである宮下さんは、トモヤさんのにぎやかなイメージのアトリエとは違つ、シックで落ち着いた事務所で「風の公園」の広報等のお仕事をします。また長野にいながら大きな仕事もしています。

トモヤさんと宮下さんは元々同じ高校に通っていた、いわゆる幼馴染。それぞれが東京で活動していて、ふとしたきっかけで地元で再会。話してみればともに長野に戻って仕事をしたいという共通点があることが分かり、その後は二人のこの「風の公園」を立ち上げるまではあつたという間だったと言います。「お互いに小さな子どもがいるのだけど、環境って大切だと考えていました。仕事は長野に事務所を構えても今まで通り仕事できるし」ともあれ、こんな個人的な空間を共有するには、それぞれの仕事のクオリティを認め合つてからこそ、そんなめぐり合わせ、なかなかないですよ。



左前からデザイナーの本藤麻似さん、ライターの樋口麻由さん、編集兼ライターの久保田香織さん、デザイナーの関谷まゆみさん、「OPEN」代表でコピーライターの長峯亘さん、清泉女学院大学助教の山貝征典さん

OPEN

「閉じていられるか!」
新パブリックスペースの誕生



OPEN

権堂の旧呉服問屋が新しい空間に

カフェバー、お菓子教室、革職人の工房、デザイナーやライターの事務所、コワーキングスペースがひとつにまとまる「OPEN」。訪れれば、コミュニケーションとアイデアを生み出せる空間になりそうです。



〒長野市鶴賀権堂町2300
☎hello@open-ganda.com
http://open-ganda.com/

旧北国街道に位置する「OPEN」は、カフェバー、コワーキングスペースなどが入るパブリックスペースです。元は呉服問屋だった母屋、土蔵、納屋には、古い建物ならではの重厚感と落ち着きを感じられます。昨年、この魅力ある建物が壊されてしまおうと知った不動産業者MY ROOMの倉石智典さんが呼びかけたのが始まりで、より楽しく、魅力的なスペースを探していた現在のメンバーが、それぞれの目的を持ってこの建物にたどり着いたのです。現在、メンバーは11人。各店、事務所スペースの改装を進めるほか、コワーキングスペースや広場は、地域の人はもちろん、学生や家族連れが多く訪れてもらえるような使い方を模索中です。「OPEN」代表の長峯亘さんは、「メンバーそれぞれが自分の仕事をこから生み出していくことで、結果として権堂が賑わったらうれしいです。いずれは、権堂のランドマークのひとつとなるような開けた場所になったら」と話します。デザイナーの関谷まゆみさんは「さまざまな人と出会える環境なので、おもしろいアイデアも生まれそうです」。新たな働き方を目指して集まった「OPEN」は、その名のとおり訪れる人をいつでも歓迎する空間となりそうです。これからは楽しみですね。



放送はライブ。アーケード中にスピーカーから放送が流れるほか、動画共有サービス・USTREAMでも視聴することができます。取材中、急ぎ編集部も(とっつき!)出演させていたどきまじよ

権堂商店街を歩くと、何やら楽しげな放送がアーケードの中を流れます。昨年11月からスタートした「権堂アーケード放送」です。権堂でお店を営む個性的な人たちがお寺さん、近所の本屋さんなどに登場してもらったり、放送劇団によるボイスドラマなど、権堂アーケードならではのプログラムが主。放送を中心的に進めるのは、ライブハウス・小劇場・アートのスペースの「ネオンホール」に勤務する小川哲郎さんと大沢夏海さん。「町の人たちが出演してくれること、この番組をきっかけに出会えたりできることがおもしろいですね」と哲郎さん。また、夏海さんは「はじめるときはいろいろと戸惑いや葛藤もあったけど、結果的にネオンからはみ出た形のこの活動が楽しくなってきた」と2人とも丁寧な言葉を選びながら話してくれました。

哲郎さんは高校生の頃から、夏海さんは信大に在学している。ろから「ネオンホール」に流れ着き、現在まで至ります。「ネオンホール」での哲郎さんは店長的な存在で、オルタナティブバンド「ジ・オーパーツ」のヴォーカルとギターも担当。夏海さんは事務長的役割で「ジ・オーパーツ」「チョコレートタウンアーケストラ」でベースも担当しています。二人とも何でもこなす!ネオンのユニークなイベントの数々もぜひ参加してみたいもの。

権堂から発信するおもしろ番組 権堂アーケード放送



「権堂アーケード放送」を中心的に運営する、小川哲郎さんと大沢夏海さん。ともにライブハウス・小劇場・アートのスペースの「ネオンホール」に勤務している

権堂アーケード放送

手作り感たっぷりの番組

スタジオは、アーケードの西側入り口にあった呉服店「つづきや」店舗を使った「権堂まちづくりセンター」の一角にあります。ガラス張りになっていて、放送時間中は出演者たちの様子を見ることが出来ます。



〒長野市長野東後町9-1
☎12~12時30分
☎水、木、金、土曜



長野松竹相生座
長野ロキシー1・2

フィルムの映画を回し続ける
1882(明治25)年に芝居小屋として始まった当館。活動写真の上映などを経て現在、単館系の映画館として今なお多くの映画ファンが集まります。今もフィルムで上映している、そのアナログ感がまた魅力のひとつ。

〒225-0269 長野市権堂町2255
☎026-232-3016
<http://www.naganoaiozaka.com/>



ミニシアター系の映画を歴史ある映画館で
長野松竹相生座
長野ロキシー1・2



特別に映写室に入らせてもらいましたが、1本の映画のフィルムを切って、6本に分けてからパッケージして郵送、こうして職人さんによるアナログ作業は昔ながらの姿

さてさて、ここからは権堂のスポット紹介をいくつか紹介します。古くも今なお多くの市民に愛されているのが「長野松竹相生座 長野ロキシー1・2」。通称「ロキシー」と皆に呼ばれる単館系の映画館です。1882(明治25)年に芝居小屋として始まり、今や国内最古級の映画館としても知られます。現在はミニシアター系の映画やお客さんのリクエストによる名画の上映がメイン。今なおフィルムで放映し「カタカタカタカタ」というフィルム映画独特の音が場内(特に2階席)に響きます。スタッフ手作りのケーキの販売をしていたり、休憩中にはお茶を振舞ってもらえるなど、温かみのある映画館。「話がきたり、ゆつたりできる空間にしたい」と話してくれました。

中央通り沿いにある、気軽に便利なカフェ
BAKERY'S STREET & CAFE



BAKERY'S STREET & CAFE

信州の個性豊かなパンも並びます
長野駅から善光寺へとつながる中央通り沿いにある「ベーカリーズストリート&カフェ」。地元の人から観光客まで多くの人でにぎわいます(なぜか外国人のお客さんも多い)。夏になるとオープンカフェに变身します。

〒225-0269 長野市西後町まちなみ1583番地
☎026-232-0269 10~18時(金・土曜は~19時) 休なし



角居さんは、錫(すず)と真鍮(しんちゆう)を主な素材として表現活動をします。金沢美術工芸大学のデザイン科で鍍金(ちゆうきん)を専攻。その後、焼物作家の鯉江良二氏に師事してから独立。現代美術作家として作品を創り続け、ここ7~8年前から道具(花器や器など)も同時進行で発表してきました。現在は県内外での作品展を精力的に行なっています。銀色でちょっとにぶい輝きを放つ錫、またこちらもよっとにぶい金色が特徴の真鍮を使つての作品は、ありそうでなかった様子を見せていました。「錫はお酒や水などの飲み物をまるやかにさせる作用があるんです。しかも柔らかくて熱伝導もいい。真鍮は逆に硬くて熱伝導がよくない分、その特徴を生かして、錫や真鍮を組み合わせて制作します。素材を活かす、そういった作品作り」と角居さん。

原風舎
金属造形作家・角居康宏さんの
ギャラリー兼工房(兼住居)



3Fの工房の様子。作家さんらしく、机や道具箱などは使いやすいように作られたオリジナル。金槌などの道具も手作りが多いんだそう

原風舎

金属を使った現代アートと道具の数々

「原風舎」は1Fがギャラリー、3Fが工房となっている金属造形作家・角居康宏さんの拠点場所。元々はタイ料理屋さんだったところを改装したそう。ギャラリーは営業時間外でも事前予約の連絡があれば対応してくれます。

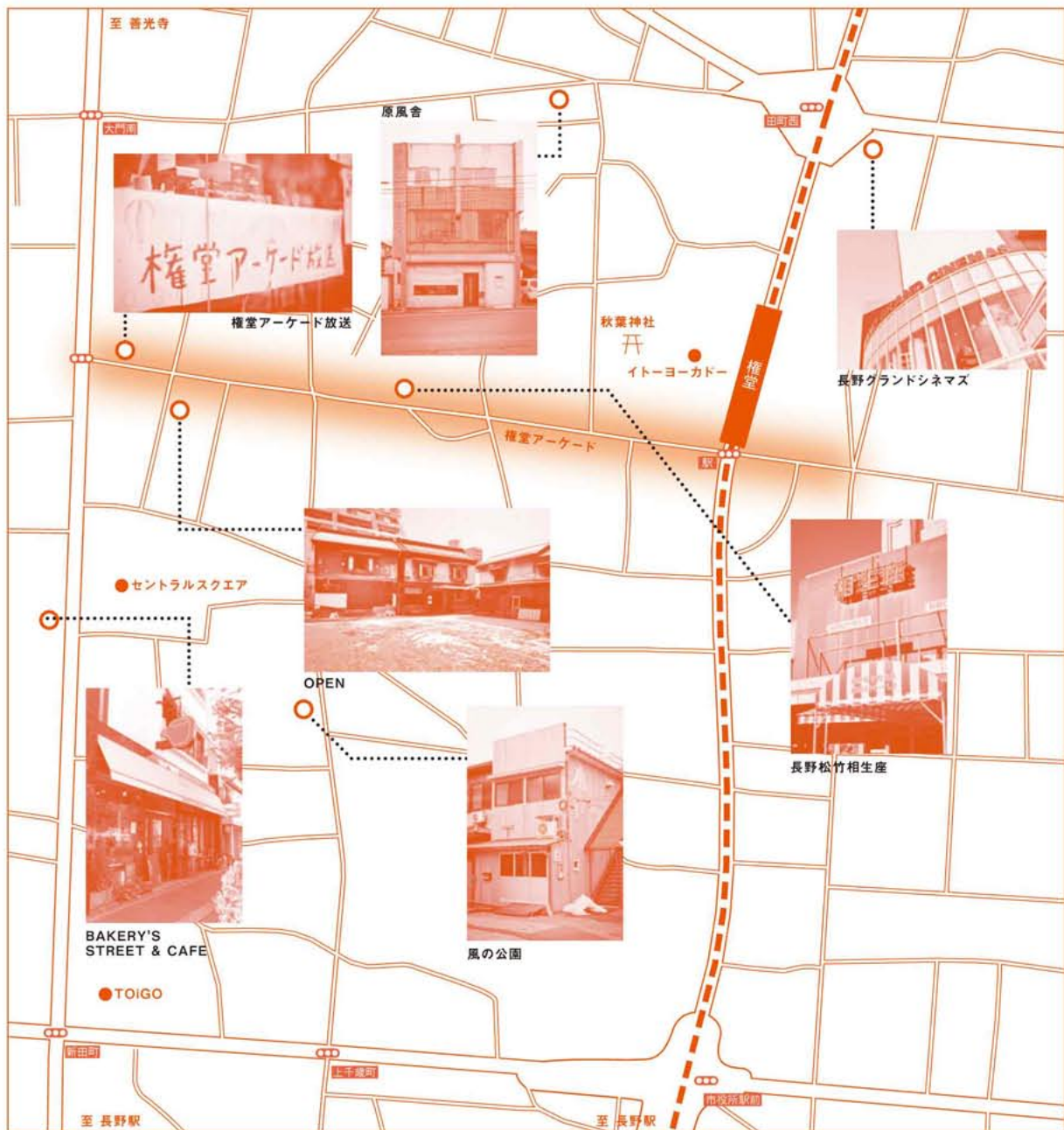


〒2410 長野市鶴岡田町2410
☎026-217-0194 11~18時くらい(ギャラリー)
休不定(ギャラリー)
<http://genpuya.no-blog.jp/>

錫の鍍金による器作品。ギャラリーに展示されていたものです。取材したときも、目の前でざくざくと作品を作らせてもらいました。柔らかい素材の分、制作には繊細な作業が求められます



権堂エリアのシネコンは
長野市で唯一の存在



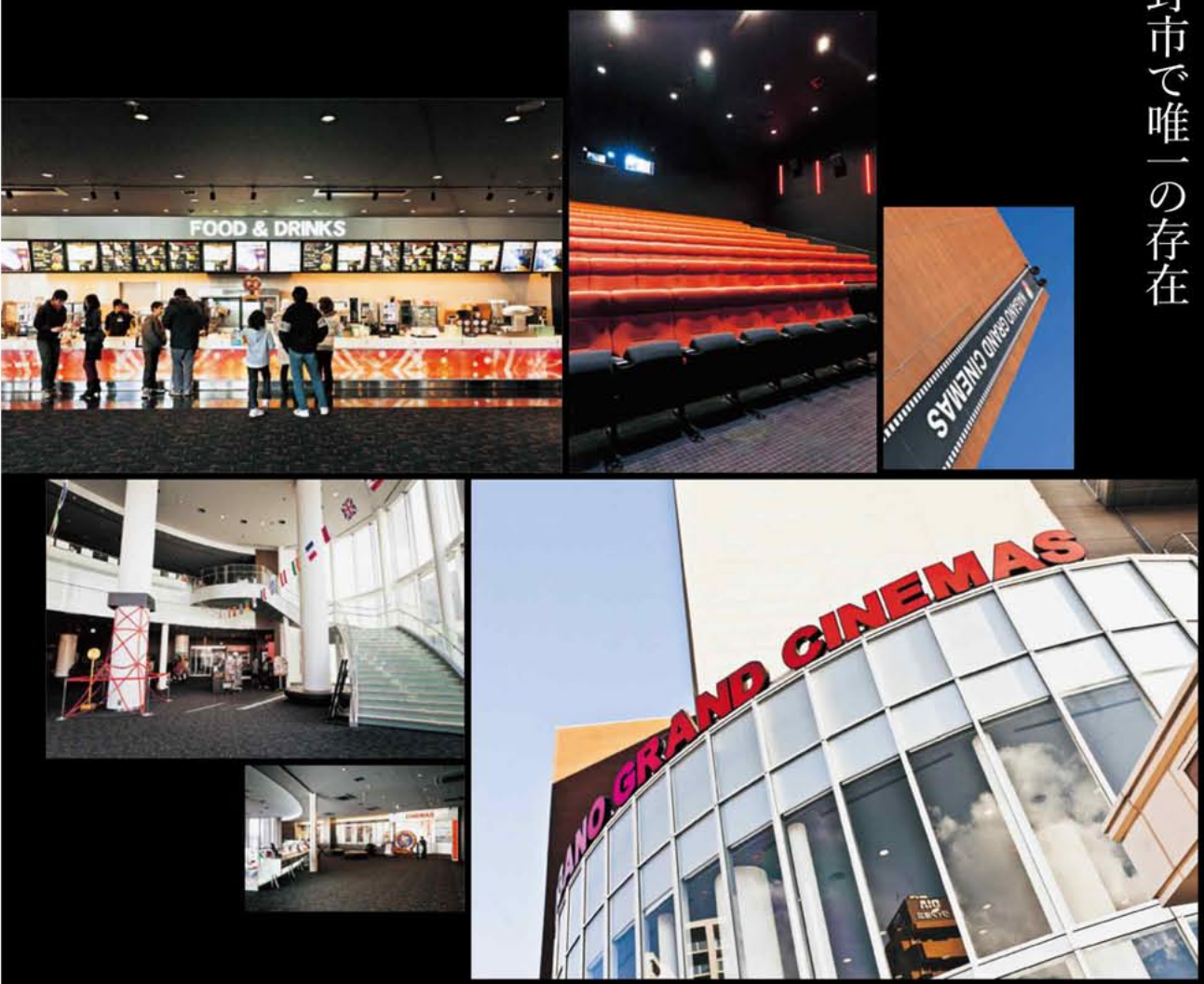
GONDOH MAP



今すぐ行こう! スパッと検索!
信州なび助
 まずはQRコードからアクセス!!
 [信州なび助]
<http://navi-suke.jp/>

日のお散歩コースが
 ケータイを使って楽しめる

ケータイサイト「信州なび助」では、日中の情報がたくさん載っています。トップページからは、日中と運動した「お散歩なび助」が閲覧できます。ケータイ片手に権堂をお散歩してみたいかがでしょう。



一つの施設に複数のスクリーンがある映画館・シネマコンプレックス。権堂にもあるのです。長野大通りの田町西交差点門に建つ、ご存知「長野グランドシネマズ」です。ひとたび足を踏み入れれば、館内にはキャラクターポップコーンのあま〜い香りが漂います。これだけでテンションもアップ! 映画は、話題の作品からファミリー向けまでを全部で8スクリーンにて上映。はやりの3Dもやっていますよ。4番シアターは「ヨーロッパアンビスタ」のスクリーンサイズなどにも対応。実は映画によって監督のこだわりでサイズが違うのです。チケットを購入して、空手をイメージしたというシネマズゲートを通れば、日常から離れた空間とこれから始まる映画にワクワク感が更に高まります。

こちらはフードコートのほか、映画にまつわるおみやげコーナー(パンフレット、映画商品など)も併設。取材したときもうっかり「BACK TO THE FUTURE」のデッドストックのムービーカードを購入してしまった編集部。そう、映画を観なくても楽しめるのが「長野グランドシネマズ」の魅力でもあります。休日に権堂を散策するのなら、ぜひ映画も楽しみたいもの。

長野グランドシネマズ
 長野市権堂町1506(長野電鉄・権堂駅から徒歩2分)
 ☎026-233-3415
 (上映案内・24時間)
<http://www.grandcinemas.net/>